

経営学演習Ⅰ

必修 2単位

前川 正

1. 授業の概要(ねらい)

COSO理事会が2004年に出版した「全社リスクマネジメント～統合的フレームワーク」は、組織がリスクを管理する取り組みを行う場合に広く採用されてきましたが、同時にこの10年間でリスクの複雑さは変化し新しいリスクが生じています。2004年版の改訂は全社リスクマネジメントの進化と、進化しつつある事業環境の要請に則して組織がリスクを管理するためのアプローチを改善する必要性に対処するために行われ、改訂版の書名は「全社リスクマネジメント～戦略およびパフォーマンスとの統合(2017年)」として出版され戦略策定プロセスにおいても、パフォーマンス促進においてもリスクを検討することの重要性を強調しています。リスクとは選択の芸術(アート)であり科学(サイエンス)である、とされています。組織の規模、形態、業種や活動場所を問わず、さまざまな組織にさまざまな方式で適用可能な世界標準の「全社リスクマネジメント～戦略およびパフォーマンスとの統合(2017年)」を経営学演習ⅠⅡを通して学習していくことが授業の狙いとなります。

2. 授業の到達目標

- ①全社リスクマネジメントの最新かつ進化しつつある概念、ならびに適用に関しての大局的な視点を修得することができます。
- ②「全社リスクマネジメント～統合的フレームワーク(2004年)」と「全社リスクマネジメント～戦略及びパフォーマンスとの統合(2017年)」の進化を理解できるようになります。

3. 成績評価の方法および基準

課題レポート(70%)と課題に対するプレゼンテーション(30%)

4. 教科書・参考文献

教科書

一般社団法人日本内部監査協会[監訳] 『COSO全社リスクマネジメント』 同文館出版

参考文献

MS&ADインターリスク総研[編著] 『リスクマネジメント要覧 理論と実例』 経済法令研究会

5. 準備学修の内容

- 当日の講義は前回講義の各自の復習をもとに進めますので次のような準備学修課題を課します。
- ①講義で使用したバワゴ資料は講義の翌日にはLMSにアップするので、復習を兼ねてバワゴ資料を熟読してください。
 - ②講義内容に関連する文献・資料等(各回講義の中で都度参考文献は紹介)の自主学習に取組んでください。
 - ③講義ではレジュメ・資料を配布しますので講義内容の重要点を補記し復習に活用してください。
 - ④課題レポートの作成(複数回)を準備してください。
 - ⑤課題に対するプレゼンテーション実施の準備をしてください。

6. その他履修上の注意事項

- ①欠席及び公欠の扱いについては原則大学の規定にフォローします。
- ②他の受講生の迷惑にならないように最低限の授業におけるマナーは厳守してください。
- ③受講に対してとくに対応が必要な場合(病気・ケガ・障害)は遠慮なく申し出てください。
- ④授業をよりよくしていく上での意見・感想・コメントも遠慮なく連絡ください。
- ⑤リスクと保険特講ⅠⅡを履修していること、あるいは同時に履修することを推奨します。

7. 授業内容

- | | |
|--------|---|
| 【第1回】 | オリエンテーションー授業の進め方・成績評価の方法および基準・準備学修の内容等の概要説明 |
| 【第2回】 | 全社リスクマネジメントフレームワーク |
| 【第3回】 | リスクおよび全社リスクマネジメント |
| 【第4回】 | 戦略、事業目標およびパフォーマンス |
| 【第5回】 | 全社リスクマネジメントの統合、構成要素と原則 |
| 【第6回】 | ガバナンスとカルチャー(1) 取締役会におけるリスク監視 |
| 【第7回】 | ガバナンスとカルチャー(2) 業務構造の確立 |
| 【第8回】 | ガバナンスとカルチャー(3) カルチャーの定義 |
| 【第9回】 | ガバナンスとカルチャー(4) コアバリューに対するコミットメント |
| 【第10回】 | ガバナンスとカルチャー(5) 人的資本の形成 |
| 【第11回】 | 戦略と目標設定(1) 事業環境の分析 |
| 【第12回】 | 戦略と目標設定(2) リスク選好の定義 |
| 【第13回】 | 戦略と目標設定(3) 代替戦略の評価 |
| 【第14回】 | 戦略と目標設定(4) 事業目標の設定 |
| 【第15回】 | 総まとめ(課題に対するプレゼンテーションの実施と課題レポートの提出) |